

第1回枚方オクトーバーフェストを終えて ～第1回枚方オクトーバーフェスト検証座談会～

日時 平成28年10月3日(月曜日) 19:30～

場所 北大阪商工会議所 青年部 部室

出演者 川北青年部会長、芝田、外村、西森、坂楨、谷、城岡、牧野、菅野、田中豪、岩本



1. はじめに

芝田：本日はお集まりいただき有難うございます。

「鉄は熱いうちに打て」ということで、枚方オクトーバーフェスト(以下、「フェスト」と短縮することがある。)が終了してから1週間、まだ熱気が冷めやらぬ間に、フェスト開催にあたっての各責任者の皆様にお集まりいただき、本日、検証座談会を開催させていただきます。

なお、本日の座談会の様子は、青翔の12月号、1月号にて掲載する予定です。忌憚のないご意見をお願いいたします。

まず、本日の出席者各自から自己紹介をお願いいたします。

私は、本日の司会をさせていただきます枚方オクトーバーフェストの副運営委員長をさせていただきました芝田かおりです。本日は宜しくをお願いいたします。

川北青年部会長：枚方オクトーバーフェストで運営委員長をさせていただきました川北修義です。

出演者一同：よろしくをお願いいたします。

芝田：それでは、座談会を始めたいと思います。

進め方としては、各本部の皆様にも、①各本部の役割を紹介していただき、続いて、②問題点や反省点、次年度以降の課題等を皆様でご議論いただくというかたちでお願いいたします。

最後に、運営委員長にまとめをお願いいたします。

それでは、営業本部から、牧野本部長、宜しくをお願いいたします。

2. 営業本部

牧野：営業本部は、主に関係者向けに販売したチケットの制作・立案・販売を行いました。

芝田：制作・立案の流れで、大変だったことはどのようなことでしたか。

牧野：チケットのデザインが決まった後、チケットに掲載する文言等を、連絡協議会や枚方市などの関係諸団体と相談をしながら決めていかなければなりませんので、そこでのすり合わせ等に相当時間がかかり、チケットの販売に取り掛かるのが当初の目論見より遅くなってしまいました。その結果、チケット販売に充てる期間が限定されてしまいました。すぐに決めることができると考えていましたが、これほど確認が必要とは思いませんでした。

芝田：来年からはどうすればいいと考えましたか。

牧野：来年は、意思決定機関としての運営委員会に、枚方市や北大阪商工会議所(以下、「本会」と省略することがある。)の担当者の方に出席していただき、運営委員会の中で決済を取っていく形にできればと思いました。

西森：枚方オクトーバーフェストは、枚方市駅前大収穫祭の核事業という位置づけだから、連絡協議会との相談をする必要があります。

芝田：指揮系統としては、連絡協議会と運営委員会の2つあったということでしょうか。

川北青年部会長：今年はそういうことでやっていました。次年度以降に繋いでいく課題ですね。

外村：本会も枚方市も、担当部署は決まっているのだから、担当部署と相談していければいいと思います。

別の考えとしては、細かいところを打ち合わせていく機動的な作業部会のような会議体を置けば便利だったかもしれないですね。

西森：川北運営委員長が関係各所への交渉をしてくれました。次年度も繋いでいかないといいけませんね。

芝田：次に、チケット販売にあたっての問題点はどうか。



営業本部長

牧野 博

牧野：販売は青年部メンバーの協力もあり、見事に完売しましたので、うまくいきました。あえて言えば、メンバー全員に枚方オクトーバーフェストの意義を伝えることができず、やらされ感のある状態でチケット販売にかかった向きもあったのかもしれませんが。

外村：各委員会で、最初の伝え方に差があったのかもかもしれません。

西森：本当は欲しかったけれども購入できなかったメンバーがいたかもかもしれませんね。

田中：チケットの仕組みについてはよく考えられていましたね。

西森：チケットの目的は、集客すなわち広報、そして準備段階における最低限の財源確保という点にあります。チケット販売に合わせて、広報も進みまし、2,000冊のチケットを発行することにより1,000万円の財源の確保ができました。

川北青年部会長：集客ベースで考えると、チケットは1,100万円分発行しましたが、1,000万円程度使用されておりまして、チケットを入手された方は大抵が来てくれたようです。

チケットを売ることに伴う広報は成功したと言えます。

西森：チケットのデザインに関しては、お札のような大きさにしてもいいかもかもしれませんね。

芝田：来年もチケットを発行するかどうか考えないといけませんね。私は発行するとよいと思います。

川北青年部会長：ベースマネー、広報の点で優れていますからね。



北大阪商工会議所 青年部 会長
オクトーバーフェスト運営委員長
川北 修義

3. 行催事本部

谷：行催事本部としては、盛り上げ隊の編成やステージ運営、現場対応、ボランティアの募集・運営を行いました。

芝田：まずはボランティアから教えてください。

谷：公募ボランティアについては、募集要項の作成・HPへの掲載、説明会の開催、マニュアルやシフト表の作成等、かなりの労力を費やしました。しかしボランティアの方々に大変喜んでいただき、盛り上げにも大活躍していただきました。



行催事本部長
谷 友博

またフェストの熱烈なファンの方にもご応募いただき、ステージでの盛り上げ方やダンスのご指導などもいただきました。ステージを盛り上げるにはファンの方々のご協力が不可欠ですね(笑)。

川北青年部会長：ボランティアの人にも「行きたい。」と思ってもらえるようなフェストにすることも必要ですからね。

坂楨：他に、企業ボランティアという制度も採用してい

ました。

城岡：企業ボランティアはいい制度でしたね。来年もあつたほうがよいと思います。ある会社の方は会社の名前の入った服を着ていましたが、制度的に認めることが必要かもしれません。

ご協力いただいた企業さんに効果的な広告効果をもたらす方法を検討したほうがよいかもかもしれませんね。

坂楨：企業ボランティアさんが来てくれた時に適切に指示できれば、よりよかったです。人が足りていないところに人を配置できる仕組みを作る必要があるかもかもしれません。

谷：公募ボランティアと企業ボランティアの所掌が別(行催事本部と運営本部)だったので、混乱した面があると思います。

西森：来年はボランティア部会をつくることも一つですね。

芝田：つまり、ボランティアに関しては、指揮系統をはっきりさせておくことよということですね。

岩本：その通りです。

芝田：ボランティアを集める人、管理する人、仕事を振り分ける人を決めておくということですね。

盛り上げ隊はどうでしたか。

谷：盛り上げ隊は、中島一盛り上げ隊長の指揮のもと、配置ポジションやフォーメーションの構築等を精緻化していき、ステージを重ねるごとによくなっていきました。

楽団のエーデルワイスカペレさんとも情報交換やダンス指導をいただき、素晴らしい連携ができたと感じております。最終日に近づくに従い、盛り上がりは増し、大きなうねりをつくり、北大阪が一つになったかのように感じました。



芝田：北大阪が一つということ、大団楽で話が終わってしまいますが(笑)、それほどのうねりができたということですね。

西森：遊撃隊としては、みんなが盛り上がっているところで事故が起きないか、ボランティアの人を含めて目を配っていました。

また、青年部OB会の方々が見回り隊を組織して下さったのも大変力になりました。

城岡：来年は遊撃隊の服をつくってもいいかもかもしれませんね。色を変えて。

谷：エーデルワイスカペレさんも「こんな盛り上がり方は初めての経験です」と、北大阪商工会議所の潜在力に驚かれていました。

坂楨：枚方って凄いねと言っていたけども嬉し
い気持ちになりました。

課題とまで言えるかどうかですが、ステージに近いテ
ント席と遠い方のテント席とで温度差が出るので、両方
盛り上げることができればもっとよかったと思います。

谷：そうですね。それにしてもダイヤモンド衣装は、男
性、女性を問わず似合っていましたね。やっぱり花があ
るというか。

岩本：衣装も盛り上がり役に立っていますね。

外村：あるメンバーは、ダイヤモンドでバスに乗れると
言っていました(笑)。

城岡：非現実的な楽しい空間をつくることに成功してい
たと思います。

谷：他には、オープニングセレモニーも明るいムードで
幸先の良いスタートを切れましたし、特に最終日の川北
運営委員長の挨拶は、フェストへの熱い思い、北大阪へ
の地域愛が滲み出て胸に響きましたね。感動しました。

芝田：私も聞いていて涙が出ました。

4. 出店本部

芝田：まずは出店本部の役割について教えてください。



出店本部長
菅野 雄介

菅野：役割としては、当初は出
店者の応募と保健所の対応でし
た。最終的には資金管理マン
ualや契約書等の作成にも関わ
りました。

出店本部をしてよかったと思
うことは、出店というくくりの
ため、様々なことに関わること
ができたことです。

田中：来年も公募になるのでし
ょうか。

川北青年部会長：公募になり運営委員会が出店者を決め
ることになると思います。

芝田：先ほど、資金管理マニュアルと契約書等は最後の
方に出てきたとおっしゃいましたが。

菅野：はい。出店者からの要請がありました。次年度以
降は事前に準備できると思います。

芝田：保健所の対応はどうでしたか。

菅野：飲食店経営者でないと分からない部分がありま
したので、芝田副運営委員長に頼りました。

芝田：飲食店としての経験はありますが、オクトーバ
ーフェストは初年度なので難しかったですね。来年度以降は
今年の経験があるから幾分かスムーズになると思います。

保健所側もやり方を確立していかれているようでした。

田中：次年度への引継ぎはありますか。

芝田：最終的には保健所の指示に従うことになります。

わからないところはどんどん保健所に聞きに行けば親
切に教えてくれると思います。

川北青年部会長：役所は単年度でやり方が変わる部分も
ありますので、保健所としっかりと連携を取ることが必
要ですね。

芝田：契約書に関しては何かありますか。

菅野：今年にひな形をつくったので来年は契約の際に調
印できると思います。メンバー間のことであっても、商
売として互いに必要な部分があると思いますので。

田中：今回のことを踏まえてつくりこんだ募集要項を使
用するといいかもしいですね。募集の際に契約書を使
用することも考えられます。主催者の意向を応募者に
しっかりと伝えておくことも必要ですね。

芝田：今年度はイベントをつくっていくことと出店要件
を決めることが同時だったので、反省点ではあります。

西森：次年度は、正副の組織が立ち上がった時に共通理
解を深めることが必要ですね。

城岡：みんなが同じイメージで物事を見ることができ
るというのが大切ですね。

川北青年部会長：融通が利くようにやることも重要で
すよ。出店者は売上を上げてもらう屋台骨でありますから。

5. 運営本部

芝田：運営本部の役割を教えて
ください。

城岡：運営本部は、公園や道路
使用、警察での申請など許認可
業務を中心に行いました。枚方
市駅構内及び構外のぼりや案内
看板を設置しました。

芝田：許認可というと難しいで
すが、解りやすく教えてください。

城岡：市民の公園を10日間も占
有するわけですから、大変なこ
とです。枚方市や警察署はこれを認めてくれ、一緒に地
域を活性化しようという情熱をもって対応してくれまし
た。その情熱を共有できましたので、やってよかったと
心から思います。

川北青年部会長：まちおこし事業ということで行政も全
面的に協力してくれました。

芝田：でも大変だったのではないですか。

城岡：そうですね。行政への対応なので、屋間の打ち合
わせが中心になります。川北会長と私が中心になって
やっていましたが、なかなか大変でした。

芝田：どんなことが実現できたのですか。



副運営委員長
芝田 かつお



川北青年部会長：例えば、公園の中では1,100席程度で
したが、市民会館大ホール前も開放していただき、最終

的に1,400~1,500席をつくることができました。図面をおこしながら打ち合わせを重ね、実現いたしました。
城岡：他には、テントに関しても過去15年の天候のデータを見たりして設置いたしました。

次年度以降、テントを増やすか、パラソルを設置するかなど検証する必要がありますね。

牧野：パラソルはテントのように障害物になりにくく、ステージを臨めますのでいいですね。パラソルの設置に関して賛助・協賛を募るという方法もあり得ますね。

西森：優れた考えですね。来年検討しましょう。



運営本部長

城岡 諭

城岡：スクリーンを設置するという手もありますね。

田中：費用面は大丈夫ですか。

芝田：スクリーンも協賛を募ってもいいかもしれません。

外村：スクリーンを設置するとCMを流せるので、協賛を得やすいかもしれませんね。

時間があればいろいろ思いつきますね。

城岡：スクリーンがあれば、ステージが見えにくい席も一体となって踊りを踊れると思います。

谷：サブステージに大型モニターを設置してメインステージの様子を映してもいいかもしれません。全体が盛り上がる仕組みを考えていくことが大切ですからね。

川北青年部会長：踊りがなくて肅々と食事をしたい人も

いますから、そのような席も必要ですから、これは今後の課題ですね。

あと、動力電源の話もしないといけませんね。

坂横：岩本さんの会社に行っていたいただいた工事のことでですね。

城岡：開催地の岡東中央公園に既設の電源でイベントをするには、容量が不足していましたので、これまでは発電機が必要でした。ただ、発電機を使った事業は事故に繋がることもありますので、関係者の懸念材料でした。

そこで、今回のフェストの際に、運営委員会の予算で動力電源を設置して、岡東中央公園に電気をひけるようにしました。

川北青年部会長：この動力電源は、運営委員会として枚方市に寄贈させていただきます。

城岡：これにより、今後、岡東中央公園で電気を引いたイベントができることになったということです。公園の活用力が上がったといえます。

芝田：素晴らしい話ですね。

岩本：枚方市駅前が活性化するお手伝いができるということはとても嬉しいですね。

川北青年部会長：地域活性を図るという我々の活動に繋がると思います。

芝田：運営本部からはこのくらいでしょうか。

座談会の様子は次回の青翔に続きます。

北大阪商工会議所 青年部

会員募集



商工会議所青年部【YEG】は
 次代の地域経済を担う
 若手経営者の集まりです。

平成 28 年度スローガン

人を繋ぎ、地域を繋ぎ、
 未来を繋ぐ「魅力あるまちへ」

平成 28 年度会長 川北修義



〒573-8585 枚方市大垣内町 2-12-27
 TEL : 072-843-5163 FAX : 072-844-9988
 北大阪商工会議所青年部事務局

<http://www.kitaosaka-yeg.jp/>

検索 